

瑞穂通り第六街路樹愛護会の活動報告

実施日：2022.09.10



前日朝に藤田会長からグループ LINE に確認連絡がありました。

予定通り、毎月 10 日の朝 7 時半に瑞穂通 4 丁目の cafeH 横に全員 6 名が集合しました。会長から作業分担と安全注意事項の説明後、ニューフェースのお姉さんお二人のご挨拶があり、会員からのエールの拍手と歓迎の笑顔がありました。何処の愛護会も会員の減少傾向がある中で当会は頼もしい限りです。

支給されたメッシュの緑のベストには、背に【街路樹愛護会】の大きなゴシック文字、羽織れば全員に一体感が生まれます。手にはハードグリップ仕様のゴムコーティングをした手袋を装着。

車道側の高木の下には歩道と車道を分離する低木用のベルト状植栽柵があり、ユキヤナギ・オオムラサキツツジ・ヘデラ、それと良く分からない野生化した蔓科植物が植栽されています。

このベルト状の植栽柵の雑草は、本来の植栽植物を駆逐して特に今頃は、成長が旺盛で雑草が伸び、植栽植物が覆われて見苦しい状態です。

雑草はエノコログサの花圃(かすい)が伸び、メヒシバ・オヒシバ・ブタクサ・セイタカアワダチソウ等の他、強い陽射しを浴びて元気に植栽柵から歩道までを寡占化しています。

流石が、日差しの強い今日の作業は汗を滴らせながら雑草との格闘技です。

小生も握力が落ちたとは言え、ハードグリップの手助けて指先に力が入りグイグイ根こそぎ抜き取ります。幸い夜半からの大雨で土壌が柔らかく容易に抜くことができます。

雑草が根から抜かれ表土が現れ、息抜きした様な植栽植物を見れば作業の達成感に満足します。全員一丸となって 1 時間余りの作業で可燃ごみ袋 11 個の収穫になりました。

クールダウンで何時もの慣例により cafeH に寄り、情報交換と反省会が行われ 9 時半過ぎに解散になりました。(写真提供：吉安孝子)

